

【国語科 研究構想図】

【学校教育目標】 自ら考え、判断し、心豊かに行動できる子どもの育成

【研究主題】
主体的に学ぶ子どもの育成
～学習形態を工夫した「学び合い」学習の実施～

【研究仮説】

文学的文章を、読みを深めるための技を提示し、課題解決的な言語活動を工夫して行えば、読みの力を育成することができるであろうと考える。

【検証の視点】

- 1 「読みの力」を育成するための指導方法の工夫として課題解決的な言語活動が行われていたか

【研究内容】

- (1) つけたい力を明確にした単元づくり
 - ・教材分析シートを活用した教材研究
 - ・必然性のある課題設定「大きな問い」
 - ・興味をもつことができるゴールの設定
 - ・つけたい力・単元計画を明確にした指導案作り
- (2) 学習指導要領、各学年の年間指導計画系統表を踏まえた指導

【検証の方法】

- 評価テストにおける通過率 80%以上の児童を80%以上にする。
- 学んだことを生かして、ゴール作品を仕上げた児童を80%以上にする。

【検証の視点】

- 2 「書く」「話す・聞く」言語活動を効果的に取り入れていたか

【研究内容】

- (1) 単元・授業の中に「書く」「話す・聞く」場の設定
 - ・毎時間のノート・成果物の蓄積
 - ・条件に応じて自分の考えを書く・話す・聞く場の設定
 - ・目的意識を持ち、関わり合い、発展性のあるペアトーク・グループトーク
- (2) 学びが表れる音読

【検証の方法】

- ノートや成果物に、根拠を基にした自分の考えを書くことができる児童を80%以上にする。
- 音読の好きな児童を80%以上にする（アンケート）

「福山100NEN教育」

「自ら考え学ぶ授業」の推進 「授業が面白い」

疑問「なぜ？ どうして？」

納得「そうか！ なるほど！」

達成「すごい！ できた！」

湯田小 21世紀型スキル&倫理観

- 1 課題発見・課題解決
- 2 コミュニケーション力
- 3 人としての思いやり

特別支援教育の視点

授業のユニバーサルデザイン